



平成25年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月10日
上場取引所 東 大

上場会社名 テイカ株式会社
コード番号 4027 URL <http://www.tavca.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役
定時株主総会開催予定日 平成25年6月27日
有価証券報告書提出予定日 平成25年6月28日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 清野 學
(氏名) 山崎 博史
配当支払開始予定日

TEL 06-6208-6404
平成25年6月28日

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期の連結業績(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期	34,778	0.9	2,787	△19.5	2,817	△17.5	1,723	△0.9
24年3月期	34,480	7.6	3,462	27.3	3,413	29.5	1,739	15.3

(注) 包括利益 25年3月期 2,362百万円 (28.0%) 24年3月期 1,846百万円 (33.2%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
25年3月期	34.72	—	6.5	6.9	8.0
24年3月期	35.04	—	7.0	8.5	10.0

(参考) 持分法投資損益 25年3月期 一百万円 24年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期	41,173	27,826	67.3	558.51
24年3月期	40,970	25,765	62.7	517.32

(参考) 自己資本 25年3月期 27,718百万円 24年3月期 25,676百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
25年3月期	△151	△1,710	△348	3,229
24年3月期	3,377	△1,831	△1,473	5,412

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
24年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00	297	17.1	1.2
25年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00	297	17.3	1.1
26年3月期(予想)	—	0.00	—	6.00	6.00		17.5	

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,000	1.9	1,300	△22.1	1,300	△22.7	800	△21.0	16.12
通期	37,000	6.4	2,800	0.4	2,800	△0.6	1,700	△1.3	34.25

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期	51,428,828 株	24年3月期	51,428,828 株
② 期末自己株式数	25年3月期	1,798,659 株	24年3月期	1,794,103 株
③ 期中平均株式数	25年3月期	49,633,400 株	24年3月期	49,637,513 株

(参考) 個別業績の概要

1. 平成25年3月期の個別業績(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期	28,962	△1.3	2,477	△19.5	2,633	△15.5	1,641	3.0
24年3月期	29,338	5.1	3,078	33.5	3,117	30.9	1,594	15.9

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期	33.08	—
24年3月期	32.13	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
25年3月期	37,714		26,381		70.0		531.55	
24年3月期	38,080		24,503		64.3		493.68	

(参考) 自己資本 25年3月期 26,381百万円 24年3月期 24,503百万円

2. 平成26年3月期の個別業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,500	△3.9	1,100	△29.9	700	△25.9	14.10
通期	30,500	5.3	2,400	△8.9	1,500	△8.6	30.22

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績(1)経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 経営方針	4
(1) 会社の経営の基本方針	4
(2) 中長期的な会社の経営戦略と会社の対処すべき課題	4
3. 連結財務諸表	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 継続企業の前提に関する注記	12
(6) 追加情報	12
(7) 注記事項	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14
4. その他	15
(1) 役員の変動	15

1. 経営成績

(1) 経営成績に関する分析

当連結会計年度におけるわが国の経済は、昨年末の政権交代に伴う政策期待から円高の是正や株価の上昇が進むなど、明るい兆しが見られたものの、期を通しては実体経済の回復の動きは弱く、また欧州の財政問題や新興国経済の減速など、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは事業環境や顧客ニーズの変化に対応した積極的な販売活動の展開に努めましたが、チタン鉱石価格の高騰に伴う製造コストの上昇等があり、当連結会計年度の業績につきましては売上高は347億7千8百万円（前期比0.9%増）、営業利益は27億8千7百万円（前期比19.5%減）、経常利益は28億1千7百万円（前期比17.5%減）、当期純利益は17億2千3百万円（前期比0.9%減）となりました。

当連結会計年度のセグメント別の概況は次のとおりであります。（添付資料の12ページ「セグメント情報」をご参照ください）

酸化チタン関連事業

汎用途の酸化チタンは、期前半は国内の塗料・インキ向けの販売が堅調に推移したものの、期後半は国内外の需要が低迷し、通期の売上高は前期並みとなりました。

機能性用途の微粒子酸化チタンは、欧州向けの輸出が経済状況の悪化の影響を受け減少、売上高は前期を下回りました。表面処理製品は、化粧品向けの拡販に努めたこと等により、引き続き堅調に推移いたしました。

以上の結果、当事業の売上高は206億8千6百万円（前期比0.3%増）となりました。

その他事業

界面活性剤は、主用途の洗剤等日用品向けが概ね順調に推移し、販売数量、売上高ともに前期並みを維持いたしました。海外の連結子会社の販売は引き続き好調に推移し、売上高は前期を大きく上回りました。

硫酸は販売数量、売上高ともに前期並みを維持いたしました。

無公害防錆顔料は、欧米向けの輸出が円高の影響を受け減少、売上高は前期を下回りました。

導電性高分子酸化重合剤は、中国品の台頭による販売価格の下落等により、売上高は前期を大きく下回りました。

倉庫業は荷扱量の減少により、売上高は前期を下回りました。

エレクトロ・セラミックス製品は、医療用向けの販売が好調に推移し、売上高は前期を上回りました。

以上の結果、当事業の売上高は140億9千1百万円（前期比1.7%増）となりました。

(次期の見通し)

次期の経済見通しにつきましては、円安による輸出環境の改善や消費税率引き上げ前の駆け込み需要等から、回復基調をたどるものと期待されますが、原油価格の上昇や欧州経済や新興国経済の減速懸念等もあり、不透明な状況が続くものと考えられます。

当社グループを取りまく事業環境は次のとおりであります。

・酸化チタン関連事業

酸化チタンに関しましては、円安の進行に伴う鉱石、重油価格の上昇や世界的な供給過剰等により収益面は厳しいものと予想しています。

微粒子酸化チタンおよび表面処理製品は、世界的に紫外線対策への関心が高まり、UVカット剤としての需要が旺盛で、国内外ともに更なる市場の拡大を予想しています。

・その他事業

界面活性剤に関しましては、国内洗剤市場の需要拡大が見込めない一方で、東南アジアでの洗剤市場は成長が著しく、タイの連結子会社（TAYCA(Thailand)Co.,Ltd.）の設備は昨年3月に増強後、既にフル生産に近い状況にあります。

次期の連結業績につきましては、現時点で連結売上高370億円、連結営業利益28億円、連結経常利益28億円、連結当期純利益17億円を見込んでおります。

(2) 財政状態に関する分析

① 資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末の資産総額は、411億7千3百万円（前連結会計年度末比2億2百万円増加）となりました。増減の主なものは、流動資産では、たな卸資産が23億1千3百万円増加、現金及び預金が21億8千3百万円減少、固定資産では、投資有価証券が8億1千9百万円増加したものであります。

負債合計は、133億4千6百万円（前連結会計年度末比18億5千9百万円減少）となりました。増減の主なものは、支払手形及び買掛金が13億3千1百万円減少したものであります。

純資産合計は、278億2千6百万円（前連結会計年度末比20億6千1百万円増加）となりました。増減の主なものは、当期純利益による利益剰余金が14億2千5百万円増加したものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、32億2千9百万円（前連結会計年度末比21億8千3百万円減少）となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における営業活動による資金は、1億5千1百万円の支出（前連結会計年度比35億2千9百万円減少）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益26億9千5百万円、減価償却費20億4千万円がありました。たな卸資産が22億9千2百万円増加、仕入債務が13億8千1百万円減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における投資活動による資金は、17億1千万円の支出（前連結会計年度比1億2千1百万円支出額の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出15億8千9百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における財務活動による資金は、3億4千8百万円の支出（前連結会計年度比11億2千5百万円支出額の減少）となりました。これは主に、長期借入れによる収入13億円ありましたが、長期借入金の返済15億5百万円によるものです。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期	平成24年3月期	平成25年3月期
自己資本比率（％）	56.7	57.6	61.4	62.7	67.3
時価ベースの自己資本比率（％）	31.5	30.8	37.2	35.7	34.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）	4.9	1.5	1.2	1.3	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	9.1	28.5	32.2	34.8	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

（注1）いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

（注2）株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

（注3）キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

（注4）有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

（注5）平成25年3月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは、営業キャッシュ・フローがマイナスであるため記載しておりません。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は基本的に株主に対する安定配当の維持を重要事項と考えております。一方、将来の事業展開を見越した内部留保についても企業にとり重要なことと認識しており、業績に照らしこれらを総合的に判断して配当を実施することを基本方針としております。

当期末の配当につきましては、1株当たり6円とさせていただきます予定であります。また、次期の配当につきましては、次期の業績予想並びに利益配分に関する基本方針等を勘案し、当期と同様に1株当たり6円を予定しております。

内部留保資金につきましては、高付加価値分野への研究開発・設備投資に充当し、高収益体質の強化を図っております。

2. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針

当社グループの経営の理念は「人間性尊重と相互信頼を基本に、化学を基盤とした創造的技術を駆使して顧客と共に発展し、広く社会に貢献することを目指す」とし、経営の方針は「全員参加の経営、社会貢献と企業価値の増大、創造性の発揮、地球環境への調和、企業倫理の徹底、情報の開示」を骨子としております。

(2) 中長期的な会社の経営戦略と会社の対処すべき課題

当社グループは、2019年に迎える創業100周年の目標として策定しました長期経営ビジョン「Challenge 100」に基づき、その通過点である2012年度からの3ヶ年中期経営計画を策定し、全社員の共通認識となる明確な中間目標を設定しております。

これまで培ってきた企業基盤を礎に、機能性化学品など高付加価値製品への積極的な展開と経営資源の重点配分による更なる躍進の他、環境関連製品の新規開発やコア技術を核とした高付加価値製品の展開を進め、それらの早期事業化を推進して強靱な経営体質の構築を目指し企業価値向上を図っております。

3. 連結財務諸表
(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当連結会計年度 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,491	3,308
受取手形及び売掛金	11,157	10,719
商品及び製品	5,127	5,912
仕掛品	524	552
原材料及び貯蔵品	2,349	3,849
繰延税金資産	252	208
その他	321	504
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	25,221	25,055
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,170	4,045
機械装置及び運搬具（純額）	3,728	4,029
土地	1,224	1,245
建設仮勘定	643	297
その他（純額）	312	314
有形固定資産合計	10,080	9,932
無形固定資産		
その他	195	135
無形固定資産合計	195	135
投資その他の資産		
投資有価証券	4,624	5,443
長期前払費用	276	254
繰延税金資産	265	48
その他	329	328
貸倒引当金	△23	△26
投資その他の資産合計	5,472	6,049
固定資産合計	15,748	16,117
資産合計	40,970	41,173

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当連結会計年度 (平成25年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,808	3,477
短期借入金	456	659
1年内返済予定の長期借入金	1,411	1,454
未払法人税等	764	339
賞与引当金	374	324
その他	2,142	2,002
流動負債合計	9,958	8,257
固定負債		
長期借入金	2,586	2,390
長期未払金	102	28
退職給付引当金	2,557	2,487
その他	—	182
固定負債合計	5,247	5,088
負債合計	15,205	13,346
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,855	9,855
資本剰余金	6,766	6,766
利益剰余金	8,367	9,792
自己株式	△539	△540
株主資本合計	24,450	25,874
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,333	1,868
為替換算調整勘定	△107	△24
その他の包括利益累計額合計	1,226	1,844
少数株主持分	88	107
純資産合計	25,765	27,826
負債純資産合計	40,970	41,173

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
売上高	34,480	34,778
売上原価	26,312	27,185
売上総利益	8,167	7,593
販売費及び一般管理費	4,704	4,805
営業利益	3,462	2,787
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	108	105
その他	23	59
営業外収益合計	135	168
営業外費用		
支払利息	102	108
その他	81	30
営業外費用合計	184	138
経常利益	3,413	2,817
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1
特別利益合計	—	1
特別損失		
固定資産除却損	338	123
ゴルフ会員権評価損	5	—
投資有価証券評価損	1	—
特別損失合計	346	123
税金等調整前当期純利益	3,067	2,695
法人税、住民税及び事業税	1,181	901
法人税等調整額	136	63
法人税等合計	1,318	964
少数株主損益調整前当期純利益	1,749	1,731
少数株主利益	10	8
当期純利益	1,739	1,723

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
少数株主損益調整前当期純利益	1,749	1,731
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	153	534
為替換算調整勘定	△56	97
その他の包括利益合計	97	631
包括利益	1,846	2,362
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,844	2,340
少数株主に係る包括利益	2	21

(3) 連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
株主資本		
資本金		
当期首残高	9,855	9,855
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	9,855	9,855
資本剰余金		
当期首残高	6,767	6,766
当期変動額		
自己株式の処分	△0	—
当期変動額合計	△0	—
当期末残高	6,766	6,766
利益剰余金		
当期首残高	6,926	8,367
当期変動額		
剰余金の配当	△297	△297
当期純利益	1,739	1,723
当期変動額合計	1,441	1,425
当期末残高	8,367	9,792
自己株式		
当期首残高	△537	△539
当期変動額		
自己株式の取得	△2	△1
自己株式の処分	0	—
当期変動額合計	△2	△1
当期末残高	△539	△540
株主資本合計		
当期首残高	23,011	24,450
当期変動額		
剰余金の配当	△297	△297
当期純利益	1,739	1,723
自己株式の取得	△2	△1
自己株式の処分	0	—
当期変動額合計	1,439	1,424
当期末残高	24,450	25,874

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金		
当期首残高	1,180	1,333
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	153	534
当期変動額合計	153	534
当期末残高	1,333	1,868
為替換算調整勘定		
当期首残高	△58	△107
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△48	83
当期変動額合計	△48	83
当期末残高	△107	△24
その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,121	1,226
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	105	617
当期変動額合計	105	617
当期末残高	1,226	1,844
少数株主持分		
当期首残高	87	88
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	0	19
当期変動額合計	0	19
当期末残高	88	107
純資産合計		
当期首残高	24,220	25,765
当期変動額		
剰余金の配当	△297	△297
当期純利益	1,739	1,723
自己株式の取得	△2	△1
自己株式の処分	0	—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	105	637
当期変動額合計	1,544	2,061
当期末残高	25,765	27,826

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	3,067	2,695
減価償却費	2,490	2,040
固定資産除却損	338	123
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△55	△70
受取利息及び受取配当金	△112	△109
支払利息	102	108
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,411	483
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△942	△2,292
仕入債務の増減額 (△は減少)	944	△1,381
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△109	5
その他	106	△425
小計	4,419	1,177
利息及び配当金の受取額	112	109
利息の支払額	△96	△111
法人税等の支払額	△1,056	△1,326
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,377	△151
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,613	△1,589
投資有価証券の取得による支出	△11	△21
投資有価証券の売却による収入	—	2
その他	△206	△101
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,831	△1,710
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	168	156
長期借入れによる収入	393	1,300
長期借入金の返済による支出	△1,731	△1,505
自己株式の取得による支出	△2	△1
自己株式の売却による収入	0	—
配当金の支払額	△298	△297
少数株主への配当金の支払額	△3	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,473	△348
現金及び現金同等物に係る換算差額	△19	26
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	53	△2,183
現金及び現金同等物の期首残高	5,359	5,412
現金及び現金同等物の期末残高	5,412	3,229

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) 追加情報

(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当連結会計年度より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当連結会計年度の損益に与える影響は軽微であります。

(7) 注記事項

(セグメント情報等)

セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、報告セグメントを主力事業である「酸化チタン関連事業」と「その他事業」としております。なお、「酸化チタン関連事業」は岡山地区の工場で酸化チタン関連製品等を製造する事業であり、「その他事業」は主として大阪工場でスルホン化技術を核とした製品等を製造する事業であります。

各報告セグメントに属する主な製品は次のとおりであります。

- (1) 酸化チタン関連事業……………酸化チタン、微粒子酸化チタン、微粒子酸化亜鉛、表面処理製品、光触媒用酸化チタン等
- (2) その他事業……………界面活性剤、硫酸、低分子量芳香族スルホン酸、無公害防錆顔料、導電性高分子酸化重合剤、エレクトロ・セラミックス製品等

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	連結財務諸 表計上額
	酸化チタン 関連事業	その他 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	20,622	13,857	34,480	—	34,480
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	666	666	(666)	—
計	20,622	14,524	35,147	(666)	34,480
セグメント利益	2,791	665	3,457	5	3,462
その他の項目					
減価償却費	1,640	811	2,452	37	2,490

(注) セグメント利益の調整額5百万円は、セグメント間取引消去額によるものです。

当連結会計年度（自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	連結財務諸 表計上額
	酸化チタン 関連事業	その他 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	20,686	14,091	34,778	—	34,778
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	811	811	(811)	—
計	20,686	14,903	35,590	(811)	34,778
セグメント利益	2,261	548	2,810	(22)	2,787
その他の項目					
減価償却費	1,301	703	2,005	35	2,040

(注) セグメント利益の調整額△22百万円は、セグメント間取引消去額によるものです。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
1株当たり純資産額	517.32円	558.51円
1株当たり当期純利益	35.04円	34.72円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載していません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当連結会計年度 (平成25年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	25,765	27,826
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	88	107
(うち少数株主持分(百万円))	(88)	(107)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	25,676	27,718
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(千株)	49,634	49,630

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
当期純利益(百万円)	1,739	1,723
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(百万円)	1,739	1,723
期中平均株式数(千株)	49,637	49,633

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の変動

①代表取締役の変動

該当事項はありません。

②その他役員の変動（平成25年6月27日付予定）

・新任監査役候補

監査役（社外監査役） 田中 等（現 弁護士）

・退任予定監査役

監査役（社外監査役） 梶原俊久

・昇任予定取締役

専務取締役 名木田正男（現 常務取締役）

③取締役の役職、管掌等の変更（平成25年6月27日付予定）

（下線は変更部分を示します）

氏名	新役職、管掌等	旧役職、管掌等
清野 學	代表取締役社長 <u>テイカ倉庫㈱代表取締役社長</u>	代表取締役社長
古城 康治	代表取締役専務取締役 経営企画部、環境品質管理部、知財管理部、電子材料部管掌 <u>TFT㈱代表取締役社長</u>	代表取締役専務取締役 経営企画部、 <u>人事部</u> 、環境品質管理部、知財管理部、電子材料部管掌
名木田正男	<u>専務取締役</u> 営業部門統括、C-100推進室、営業部、資材部管掌 テイカ商事㈱代表取締役社長	<u>常務取締役</u> 営業部門統括、C-100推進室、営業部、資材部、 <u>岡山研究所</u> 管掌 テイカ商事㈱代表取締役社長
竹内 千秋	取締役相談役（非常勤）	取締役相談役（非常勤）
吉岡 亨	取締役岡山工場長 <u>岡山研究所</u> 、熊山工場管掌	取締役岡山工場長 熊山工場管掌
山崎 博史	取締役 内部監査室、総務部、 <u>人事部</u> 、経理部管掌	取締役 内部監査室、総務部、経理部管掌
辺見 武志	取締役 大阪研究所、大阪工場管掌	取締役 大阪研究所、大阪工場管掌
村上 雅彦	取締役東京支店長	取締役東京支店長
下道 博司	取締役（非常勤） 朝日商運㈱代表取締役社長	取締役（非常勤） 朝日商運㈱代表取締役社長
秋川 正博	取締役（非常勤） TAYCA(Thailand)Co.,Ltd. 代表取締役社長	取締役（非常勤） TAYCA(Thailand)Co.,Ltd. 代表取締役社長